

長野県木曾町⇄北海道福島町

福島町役場 産業課 田代 裕貴

「信州・木曾町から」

「信州」と呼ばれることも多い長野県。信州そばと聞けば、長野県の郷土食だとイメージする方も多いのではないだろうか。北海道が「道北・道東・道央・道南」と地域ごとに成り立っているように、長野県も大きく分けて「北信・東信・中信・南信」の4地域から成り立っており、地域ごとにそれぞれ特色があります。私は、今回、中信に位置し霊峰「御嶽山」の麓にある木曾町から福島町に来ました。



私が撮影した夏の御嶽山

「北の大地の広さに驚愕!!」

北海道に来るのは今回が人生で初めてですが、一番驚いたのはその規格外の広さです。来る前から北海道が広いとわかっていたつもりではありましたが、しかし、北海道に来た後、北は稚内から東は根室まで行きましたが、想像以上に移動に時間がかかってしまい、目的地にたどり着くのに片道2日近くかかった場所もありました。他の場所でもこのような経験をしたことはなく、北海道の広さがいかに規格外なのかということを実感させられました。移動は大変でしたが、同じ北海道でもそれぞれ違う特色のある地域を見ることができたので、今となっては良い思い出です。



根室市・納沙布岬にて

「福島町の海に思う」

いわゆる「内陸県」である長野県は、海という存在が身近ではありません。今までの人生のほとんどを長野県で過ごしてきた私にとつて、福島町に来ると決まった時に思ったことは、「好きなだけ海が見える町に行ける」というものでした。実際に福島町に来てからのこの半年間は、出勤や外出の都度海を見てきましたが、半年たった今でも、海を目にするたびに、ワクワクするような、時に落ち着くような、説明し難い不思議な感覚になります。北海道に来てから様々な場所で海を見てきましたが、福島町の海は特別に綺麗な海だと感じます。中でも、福島町まちづくり工房の「岩部クルーズ」で船から見た海や、「青の洞窟」の光景は、「きつと一生忘れることはない」と思うくらい綺麗で思い出深い光景となりました。また、せっかくの機会なので、海を見るだけでなく海釣りもどんどんチャレンジしたいと考えています。だんだん寒くなってきた、福島町にいられる時間が短くなってきたのを実感しておりますが、泣いても笑ってもあと半年。やり残したことがないよう、これからも色々経験したいと思っています。



山と海が隣り合っているのがなんとなく不思議に思えて撮影した一枚



青の洞窟にて
何回でも見に行きたいと思える場所でした